

上司になる人が心得ておくこと

上司の心得

上司という役割は、組織において非常に大きな影響力をもつ。そのため、上司としての役割を果たせるかは、組織の結果を大きく左右する。

上司の仕事とは何か

まず大前提として「上司に求められるものは、かつて一社員だったときに必要だったものとは別ものである」ことを認識することが重要である。

上司の立場になると、一個人としての成果を上げるのではなく、チームとしての成果を上げることが求められる。



だからこそ、的確なマネジメントができるかどうかは、上司として欠かせないスキルになってくる。

上司の仕事とは何か

部下の経験の浅さゆえに「自分でやった方が早い・精度が高い」と考える上司もいるが、部下の業務まで行おうとなると、**上司自身の業務過多**が当然起こりうる。



その結果として、部下の仕事状況を把握したり、部下に指示を出したりすることができなくなり**組織が回らなくなってしまう**。

また、部下に新しい挑戦や経験をさせていないため、部下が一向に**育たない状態にもなる**。

そのため、上司の仕事として、以下の2点を押さえるようにしましょう。

1. 部下を育成する
2. チームの士気を最大限に高める

次回の学習テーマ：部下育成の重要性